

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		経営理念を明文化し、会社の姿勢と目指すべき方向性を共有している。毎年社員全員で経営合宿を行い、経営計画を策定し、経営理念を実践しながら目標達成に取り組んでいる。								8	9													17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令やコンプライアンス遵守、さらに基本的な道徳的行動を身につけるため、サービス基準表を作成し社員の啓発を行なっている。																						16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引に努めるようその重要性を発信している。また協賛会社とは単価を固定、販売価格も値引きはしない方針が浸透している。																							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		建築責任者が環境対策を担当し、コロナや現場環境対応措置を行なっている。																								16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		通常業務・リモートワークともに知的財産の保護に注意を払っている。特にパソコンの持ち出しや私用パソコンの使用については規程を設けて取り組んでいる。									8.2 8.3	9													16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		知的財産保護同様、パソコン使用の規程に基づいて取り組んでいる。また、会話の中でも個人情報が他に漏れないようMTの中で確認している。																							16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		お客さまへの定期訪問毎に、色んな声をいただき都度対応、改善に取り組んでいる。																							16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●								5																		17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																										16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継者の指導・育成に取り組んでいる。																								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●																										17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		採用、教育、査定、昇進などあらゆる雇用条件、職場環境において差別しない体制・運営を徹底している。																							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		現場での事故を防止するため、常に整理整頓を徹底している。また、月に1度社長との個人面談を実施し、メンタルヘルスを図っている。																									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		正社員、パートの公正な待遇を行なっている。																									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業時間削減と有給休暇取得を促進するため、ムダをなくす業務改善に努めており、仕事と家事、育児、趣味とのバランスをとるようMTなどで話している。																									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		外部研修やコンサルに依頼し、組織づくりや人材育成を図っている。																									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		定期健康診断を実施し、コロナ感染対策を徹底するよう指示している。																								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		現在女性比率が100%となっている。業務のマニュアルを作成し、年齢を問わず活躍できる環境整備を行っている。																								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等を導入している。	●		一部でテレワークを実施している。感染症規程を設け、ステージによって会社と個人の行動パターンを規程している。																									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●																											
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																											

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		建築現場や解体現場からの廃棄物について、専門業者に依頼し、適切な処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		県HP掲載の簡易計算シートをできることから活用し、使用量を把握するとともに、エネルギー使用量の削減に取り組んでいる。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		県HP掲載の簡易計算シートをできることから活用し、排出量を把握するとともに、社内で太陽光発電を行なうなど、温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		工事材料発注の際、ムダな廃材が出ないように、綿密な積算を行なっている。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		空き家は解体すると大量の廃材が出るため、再生できそうな家は創意工夫して利活用している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		販売した新築・中古住宅内の排水は必ず、下水もしくは合併浄化槽での処理を徹底している。また顧客へは節水タイプのシャワー水栓を推奨している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15				17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生紙利用を促進している。また将来太陽光で自家発電した電気を電気自動車へ使えるよう、新築住宅の開発に取り組んでいる。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15				17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		住宅購入者へは外構の提案として、芝張りや植栽を提案し、オリーブの木などの植栽を行っている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15				17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		自社社屋、新築住宅には標準仕様で太陽光発電をパッケージ販売している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		新築住宅の場合、2ヶ月、1年、5年、10年毎の定期点検を実施し、安全性と品質を確保する仕組みをつくっている。			3.9						9			12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		中古住宅購入者にはバリアフリー化を提案することで、従来は段差で子どもや高齢者がつまずきやすかったが、工事を進めることで誰もが使いやすい環境整備を行うことができています。									9.1	10	11.7										17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		新築住宅の木材はほとんど熊本県産の杉材、ヒノキ材を使用している。		2.3	2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●										7					12.2	13.1		15						
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		空き家を減らして、無駄な廃材を出さないために、古家再生事業を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●					2.3	2.4						8.2	9.2	9.4		11.a	12.2		14	15				17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域の清掃作業などに積極的に参加している。地元で不動産無料相談会を開催している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		不動産購入予定者に対し、ハザードマップを確認し、水害などへの危険性を認識してもらい、避難場所などを説明している。				4								11.5		13.1						16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●				1.5		3	4							10.2	11.5		13.1					16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●												9		11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●							4					8.6		10.2										17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●							4.4					8.5	8.6											17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●					2		4.3	4.4	4.5			8.6		10.2		12	13	14	15				17	